

感染症情報 4月14日～20日

府下小児科187医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1,717例(堺市	112例)
②溶連菌感染症	278例(堺市	35例)
③RSウイルス感染症	191例(堺市	11例)
④伝染性紅斑	119例(堺市	7例)
⑤咽頭結膜熱	58例(堺市	9例)

府下293医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 285例(堺市 9例)

報告数による順位。前週比11.7%増の2,491件。感染性胃腸炎が府下で前週から10%増、堺市で前週99例→今回112例。溶連菌感染症が府下で11%増、堺市で前週33例→今回35例。RSウイルス感染症が府下で12%増、堺市で前週9例→今回11例。伝染性紅斑が府下で17%増、堺市で前週4例→今回7例。咽頭結膜熱が府下で53%増、堺市で前週4例→9例であった。

インフルエンザが府下で前週288例→今回285例で1%減。堺市は前週11例→今回9例。定点当たり大阪府は0.97、堺市は0.36であった。

全数把握疾患である百日咳の報告が大阪府で前週57例→今回110例は93%増であった。堺市は0例であった。

府下293医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 325例(堺市 25例)
大阪府定点 1.11 堺市定点 1.00

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、府下で35%減、定点当たり1.72→1.11。堺市で24%減、定点当たり1.32→1.00。

府下293医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11,570例(堺市 1,129例)
大阪府定点 39.49 堺市定点 45.16

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より17%増、定点当たり33.86→39.49、堺市の前週を920例に訂正し、23%増、定点当たり36.80→45.16であった。

麻疹の報告が大阪府ブロックで各1件あった。風疹はなかった。